

特集 I

第27回JAグループ和牛育成管理共進会開催!!



▲グランドチャンピオン牛 たかこ号と佐藤さん

11月1日(水)、福島県家畜市場にて第27回JAグループ和牛育成管理共進会が盛大に開催されました。今回の共進会は、9月に行われました全国和牛能力共進会宮城大会を終えたあとということもあり、和牛改良の意識が高まっている中で、例年

にない盛り上がりを見せていました。各地域での予選会を勝ち抜き、選抜されたJAの代表牛50頭の雌牛が早朝より集まり、優等賞さらにはグランドチャンピオン賞を目指して、それぞれ熱き戦いが繰り広げられました。

審査は、審査委員長である福島県農業総合センター畜産研究所 志賀美子所長を中心に、厳正かつ公平に行われました。栄えあるグランドチャ

☆優等賞

出品区	名号	JA名	生産者
第1区	わかみや	会津よつば	柏木 剛
第2区	えつこ	ふくしま未来	大谷 通泰
第3区	たかこ	ふくしま未来	佐藤真由美
第4区	ゆりこ	ふくしま未来	斎藤 正剛
第5区	ゆりこ4	福島さくら	高橋 将志

☆グランドチャンピオン賞

第3区 JAふくしま未来 佐藤真由美 様

☆特別賞

種牛賞 第3区 JAふくしま未来 佐藤真由美 様
 資質賞 第1区 JA会津よつば 柏木 剛 様
 背腰賞 第5区 JA福島さくら 高橋 将志 様

☆団体賞

JAふくしま未来

☆和牛審査競技会(最優秀賞)

一般の部 JA夢みなみ 石井 巧 様
 学生の部 福島明成高校 湊 咲希 様



▲表彰式の様子

特集 II

JA会津よつば株式会社湯浅ファームが最優秀賞に輝く
 第50回JAグループ福島枝肉共励会(郡山会場)開催



▲第50回JAG福島枝肉共励会懇談会 鏡割り

JAGグループ福島肉牛振興協議会とJA全農福島は、11月18日(土)に、郡山市内の福島県食肉流通センターにおいて第50回JAグループ福島枝肉共励会を開催しました。共励会前日におこなわれた「銘柄福島牛産地懇談会」では、肉牛生産農家をはじめ、JA関係者、買参人、福島県関係者らが参加し、福島牛のステーキやしゃぶしゃぶを味わいながら、現在の販売情勢



▲第50回JAG福島枝肉共励会最優秀賞 (株)湯浅ファーム 代表取締役 湯浅治氏



▲「福島牛」地場産消費拡大研究会 GAPについて講演する花見課長

や産地への要望等について情報交換をおこないました。あわせて福島牛消費拡大の一環として「福島牛地場産消費拡大研究会」を実施し、JA全農福島管農企画部の花見課長が「GAPの取組と福島牛について」と題して講演をしました。GAPに関する基礎知識を学習し、産地として価格のメリットの有無にこだわらず、将来的にGAPの認証がスタンダードになる可能性も鑑み、「福島牛」のブランド確立とあわせて積極的に取組んでいく必要があることを確認しました。

共励会では、福島県内の肉牛生産者が肥育した去勢59頭、雌21頭の計80頭が出品され、株式会社湯浅ファームの枝肉が最優秀賞の栄冠に輝きました。この枝肉は、霜降りの度合いを示す脂肪交雑が最も高い「12」で、「ロース芯が大きく、かぶりも厚く、綺麗なサシの入った大変立派な枝肉」と評価され、枝肉単価5,312円/kgでセリ落とされました。また、JA会津よつばの遠藤好夫氏と、JA福島さくらの坪井徳幸氏、有限会社武田ファームの枝肉が優秀賞を受賞しました。入賞された皆様方、誠におめでとうございます。共励会全体としては、平均枝肉重量が537.4kgと昨年に比べ15.1kg増加し、平均単価は2,627円/kgで昨年に比べて64円/kg高い取引となりました。福島県産の牛肉は、風評被害のために、枝肉単価で今だに他産地との価格差が見られます。しかし、品質は全国でもトップレベルの評価であり、JA全農福島では、品質の向上とともに枝肉重量の増量にむけた取り組みを生産者と一丸となって進めてまいります。あわせて、風評被害払拭のため、今後とも継続して福島県産農畜産物の美味しさと安全性についてPRし、復興の後押しをしてまいります。